

令和 5 年度 盛岡広域振興局業務方針

令和 5 年 4 月 25 日 作成

I 組織プロフィール

1 組織の目的・役割

「いわて県民計画（2019～2028）」の第 2 期アクションプランの初年度であり、新たな「地域振興プラン」を着実に推進し、県都を擁する圏域として、産業・人・暮らしの新たなつながりを生み出す連携の深化により求心力を高め、東北の拠点としての機能を担う地域の実現に取り組みます。

2 組織の主要な価値提供先やビジネスパートナー及び主要な価値提供先ごとの提供すべき価値

価値の提供先	パートナー	提供すべき価値
地域住民	市町、生産者・事業者・企業、関係団体、NPO	<ul style="list-style-type: none"> ○快適で安心・安全な生活の確保や質の高い行政サービスの提供 ○持続可能な地域づくりへの支援 ○新型コロナウイルス感染症や頻発化している自然災害などへの適切な対応
生産者、事業者、企業	市町、関係団体、教育機関、研究機関、NPO	<ul style="list-style-type: none"> ○産業を支える人材の確保・育成への支援 ○産業の経営力向上や生産性・販路拡大等の促進、DX の推進 ○企業等の魅力向上、労働環境の整備への支援 ○商品・農林産物等の付加価値を高めるための支援
県外在住者	市町、企業、関係団体、NPO	<ul style="list-style-type: none"> ○盛岡広域圏の魅力等の情報提供 ○U・I ターン情報提供、相談の機会提供
市町、関係団体等	市町、事業者、関係団体、NPO、国、圏域外の自治体	<ul style="list-style-type: none"> ○要望や課題解決への支援 ○適時適切な情報提供とネットワークの構築による広域連携の支援 ○円滑・効果的な施策推進のための支援

「岩手県職員憲章」を
具体的な行動に結び付ける
取組の視点

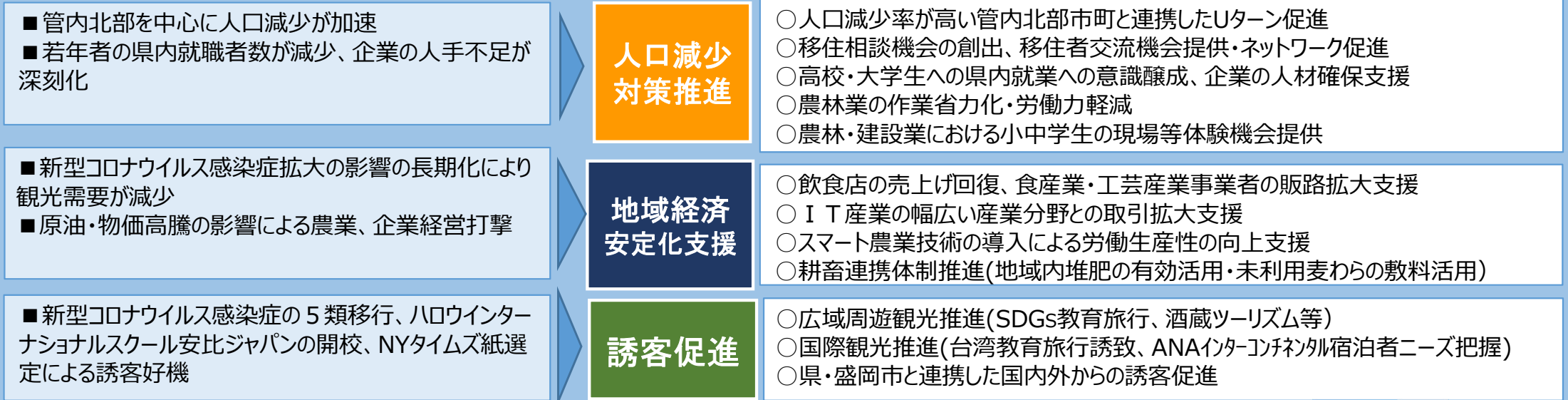
- 県民サービス向上のため
電話対応・来客対応は職員
個々人が責任をもってワン
ストップで誠実に行いま
す。
- 職員間で業務の調整を行
い、職員が能力開発に係る
研修を受講できる体制を整
えます。
- 職員がお互いに尊重し協
力しあうことで、意見交換
が活発に行われる思いやり
のある職場を実現します。
- 県民からの信頼を損なう
ことのないよう法令根拠に
則った適正な事務を執行し
ます。
- 合同庁舎前の歩道の落葉
清掃等、地域活動やボラン
ティア活動に積極的に参加
し社会に貢献します。

3 組織や業務を取り巻く環境とその変化

- (1) 「いわて県民計画（2019～2028）」の第2期アクションプラン 地域振興プランの初年度
- (2) 管内北部を中心とした人口減少の加速化への対応
- (3) 新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響からの地域経済の回復
- (4) 新型コロナウイルス感染症の「5類」への移行、ハイリスクの高齢者らの感染対策体制維持
- (5) 子どもの貧困やダブルケア、ヤングケアラー、生活困窮者など住民が抱える課題や福祉ニーズが複雑化・多様化への対応
- (6) 地域経済と環境に好循環をもたらす地域の脱炭素社会の実現に向けた対応
- (7) ハロウィン・インターナショナルスクール安比ジャパンの開校やNYタイムズ紙に盛岡市が掲載されたことを踏まえた多文化共生の取組推進
- (8) 激甚化、頻発化している洪水災害、鳥インフルエンザなどに対するハード・ソフト両面での危機管理対策推進
- (9) 県内の理工・情報系学部学生の県外への流出、企業の人手不足に対する若年者の県内就業の促進
- (10) IT産業の振興、多様な産業のデジタル化・DXの推進を担う人材の育成・確保とDXの推進による多様な産業の活性化
- (11) ハロウィン・インターナショナルスクール安比ジャパンの開校やNYタイムズ紙に盛岡市が掲載されたこと等の好機を捉えた多様な観光ニーズに対応した受入態勢強化、誘客促進
- (12) 農林産業に従事する担い手の減少と高齢化の進行に対応した経営体の育成強化や担い手の確保・育成、スマート農林業技術導入拡大、飼料や燃油等の高騰による生産コストの増大への対応
- (13) カーボンニュートラルに資する森林の循環利用促進、全国植樹祭を契機とした地域材の利用促進

重点施策の推進

圏域の課題解決に向け、市町等との連携を強化し、強み・好機を生かした取組を重点的に展開



社会・経済・環境の好循環【SDGs】



第2期アクションプラン 地域振興プランの推進

4つの重点事項と主な施策・取組

<ul style="list-style-type: none">◆ <u>こころと体の健康づくりの推進</u> 生活習慣病予防対策(人材育成・普及啓発等)、自殺対策(専門相談、人材育成等)◆ <u>安心して子どもを生み育てられる環境づくりの推進</u> こども家庭センターの設置支援、子どもの居場所づくりの充実(学習支援等)◆ <u>持続可能な地域コミュニティづくりと活動を支える人材の育成</u> 学生による地域課題解決取組活動支援、地域コミュニティ活性化支援◆ <u>企業における雇用・労働環境の整備の促進</u> 企業の採用力強化セミナーへの参加促進、企業訪問による働き方改革の取組支援	自然減・社会減対策	<ul style="list-style-type: none">◆ <u>IT・ものづくり産業の幅広い産業分野への参入促進</u> ・IT・ヘルスケア関連企業などの展示会等出展支援 ・IT関連企業と北上川ものづくり企業のマッチング交流会の開催 ・IT連携コーディネーター設置によるビジネスマッチング◆ <u>生産性・市場性の高い安全・安心な産地づくり、森林資源の循環利用及び担い手の育成・確保</u> ・水稻・畜産・花き分野における実証展示(現地実証、導入効果検証) ・林業用アシストスーツのモニタリング実施	DX
<ul style="list-style-type: none">◆ <u>3Rと廃棄物の適正処理の推進</u> 県央ブロックごみ・し尿処理施設広域化支援、産業廃棄物処理施設等の監視指導◆ <u>温室効果ガス削減対策の推進</u> エコスタッフ養成セミナーの開催、市町の脱炭素化支援、盛岡合庁の省エネ対策◆ <u>森林資源の循環利用及び担い手の育成・確保</u> 森林施業プランナーの活動支援、木質バイオマスエネルギーの利用促進、建築事業者へのアカマツ材等PR	GX	<ul style="list-style-type: none">◆ <u>新興感染症への対応と災害医療の推進</u> 新興感染症・災害を想定した高齢者施設・医療機関等との訓練・研修実施◆ <u>河川改修や砂防施設による防災安全度の向上</u> 浸水被害・市町等の要望を踏まえた河川・砂防改修、土砂災害警戒区域等調査・周知◆ <u>医療機関への緊急搬送ルートの整備</u> 医大への救急搬送路の確保(徳田橋：盛岡市・矢巾町)	安全・安心

I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域

Ⅰ 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくります

① ところと体の健康づくりの推進

いわて健康経営事業所認定制度推進、生活習慣病予防出前講座による普及啓発、ゲートキーパー等の人材育成、事業所へのメンタルヘルス出前講座実施、子どもの自殺対策のための関係者研修、ひきこもり等ハイリスク者支援

② 地域医療の確保充実と地域で支え合う福祉のまちづくりの推進

在宅医療介護連携会議研修会の開催によるネットワーク構築、中学校での医療介護出前講座の実施、生活困窮者への自立支援、農林福連携推進

③ 新興感染症への対応と災害医療の推進

関係機関と連携した医療体制整備、新興感染症・災害を想定した高齢者施設・医療機関等との訓練・研修実施

④ 安心して子どもを生み育てられる環境づくりの推進

市町の子育て世代包括支援センター等支援、こども家庭センターの設置支援、子どもの学習・生活支援事業の実施、いわて子育てにやさしい企業・いわて子育て応援の店協賛店の普及拡大

○がん・心疾患・脳血管死亡する人数〔10万人当たり〕
R3：266.5人→R5250.5人(男性)、R3：146.8人→R125.3人(女性)
○自殺者数〔10万人当たり〕 R3：21.4人→R5：14.2人

2 豊かな環境が保全され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会をつくります(環境保全、脱炭素)

① 多様で豊かな環境の保全・保護の推進

住民等と連携した環境保全活動の支援、関係機関・団体との連携した野生鳥獣対策の推進

② 3Rと廃棄物の適正処理の推進

県央ブロックごみ・し尿処理施設の広域化の支援、産業廃棄物処理施設等の監視指導

③ 動物愛護思想の普及と適正飼養の推進

社会福祉関係機関連絡会議(多頭飼育等)・社会福祉と動物愛護を考える研修会の開催

④ 温室効果ガス削減対策の推進

エコスタッフ養成セミナー開催、温暖化対策計画書の目標達成に向けた支援、市町の脱炭素化支援、盛岡合庁における省エネ対策実施

○一般廃棄物の最終処分量 R3：16,274t→R5：15,818t
○対消費電力FIT導入比 R3：77.9%→R5：85.9%

3 歴史と文化を継承しながら、新たなつながりや活力を感じられる地域づくりを進めます

① 広域連携による持続可能なまちづくりの推進

SDGsを通じた圏域・首都圏との連携支援

② 関係人口の拡大と移住・定住の促進

8市町と共同での東京での移住相談会の開催、Uターン対策「隣町でも待つてよ大作戦」の実施、移住者交流会の開催

③ 持続可能な地域コミュニティづくりと活動を支える人材の育成

コミュニティ研修会の開催、県立大学との連携による学生の地域課題解決の取組実施、多文化共生理解醸成のための出前授業実施、地域公共交通維持・確保への支援、文化芸術コーディネーターとの連携による地域活動支援

○地縁的な活動への参加割合 R3：28.7%→R5：31.3%
○市町の移住相談件数 R3：339人→R5：389人

4 過去の教訓を踏まえた防災対策を進めます

① 河川改修や砂防施設による防災安全度の向上

・木賊川遊水地工事(盛岡市・滝沢市)、北上川・松川河川改修(盛岡市)
・外水沢地区砂防堰堤本体工事(八幡平市)、山岸・桜山地区急傾斜地崩壊対策工事(盛岡市)

② 市町、関係団体、地域住民との連携による防災対応

・土砂災害警戒区域等調査、看板設置

③ 災害関連情報の充実強化による減災対策

・中小河川の洪水浸水想定区域の指定(雫石川(雫石町)、北上川(盛岡市、岩手町)、松川(盛岡市、八幡平市)、馬淵川(葛巻町)、安比川(八幡平市)

○河川改修済延長 R3：12,974m→R5：14,110m
○耐震改修促進計画に基づく木造住宅の耐震改修戸数 R3：108戸→R5：117戸

5 安心・快適な都市環境・生活環境をつくります

① 高次都市機能の充実

交通混雑の緩和を図る街路の整備推進(盛岡駅本宮線(杜の大橋：盛岡市)、大ケ生徳田線(徳田橋：盛岡市・矢巾町))

② 安全・安心な歩行空間及び自転車通行区間の確保

歩道整備等による通行空間の確保(矢巾西安庭線 広宮沢(矢巾町)、国道282号 巣子(滝沢市)、雫石東八幡平線 長山の2(雫石町)ほか

③ 建設業における担い手の確保・労働環境の整備

中学生を対象とした建設現場見学と体験学習・大学等での出前授業・工業高校での意見交換会・除雪技術研修の実施

○交通混雑が緩和される街路完了工区 R3：2工区→R5：3工区
○早期に修繕が必要な橋梁の対策完了数(橋) R3：15橋→R5：31橋

Ⅱ IT産業などの集積や豊富な農林資源を生かし、競争力の高い魅力のある産業が展開している地域

6 産学官金連携によるIT産業の育成やものづくり産業の振興に取り組みます

① 地域産業を支える人材の確保・育成、起業・創業の推進

- ・県立大等と連携した学生とIT企業のマッチングガイダンスの開催
- ・学生デジタルアイデアコンテストの開催
- ・IT人材を求める企業における大学生対象のインターンシップの実施

② IT・ものづくり産業の幅広い産業分野への参入促進

- ・IT・ヘルスケア関連企業などの展示会等出展支援
- ・県南局と連携した企業のマッチング交流会の実施
- ・IT連携コーディネーターによるビジネスマッチング
- ・企業集積施設入居企業による合同シーズ発表会の開催

○情報サービス産業の売上高 R3: 418億円→R5: 609億円

○ものづくり関連産業分野の製造品出荷額 R3: 1,246億円→R5: 1,341億円

7 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域経済を活性化します(観光産業、食産業・工芸品産業)

① 魅力ある観光地域づくりと観光客受入環境の向上

広域周遊観光の推進(酒蔵ツーリズム、隣県との連携による観光パスポートの発行)、観光物産フェアの開催(仙台圏)、管内の酒類をテーマとしたイベントの開催、SDGs国内教育旅行誘致

② 国際観光の推進

台湾学校の教育旅行誘致、外国人観光客誘客等ニーズ調査の実施

③ スポーツツーリズムの推進

- ・県央圏域モデルルート(R4造成)を活用したサイクルツーリズム推進

④ 商品の高付加価値化及び販路拡大の推進

- ・工芸展示商談会とバイヤー向け工房見学会の開催
- ・食産業・工芸品産業事業者の商談スキル向上セミナーの開催
- ・長持ちする使い方の学習や製作体験等の消費者向け工芸展の開催

○観光入込客数(延べ人数) R3: 4,582千人回→R5: 7,178千人回

○食料品製造出荷額 R3: 1,288億円→R5: 1,315億円

8 米・園芸・畜産のバランスがとれた農業の持続的発展と活力のある農村づくりを進めます

① 次世代の地域農業を担う経営体の育成

企業的経営体の育成(農地の集積・集約化、規模拡大、経営改善)、担い手の確保・育成(小中学生向けスマート農業学習会の開催、新規就農者の経営確立支援、働きやすい環境づくり推進)

② 生産性・市場性の高い安全・安心な産地づくり

水稻(自動水管理システム)・畜産(放牧牛の遠隔監視、非接触型分娩監視)・花き(りんどう自動選別機)分野のスマート農業技術の普及推進、環境保全型農業推進、農業生産基盤の計画的な整備

③ 魅力ある農村づくりの推進

多面的機能を有する農村資源の維持・保全、野生鳥獣被害対策、農村ビジネスの振興(産直研修会、情報発信)、グリーンツーリズムの受入体制強化(南畑地域の植物園の整備等)

○農畜産物の算出額 R3: 805億円→R5: 805億円

○低コスト・省力技術導入経営体(水田) R3: 16経営体→R5: 18経営体

9 森林資源の循環利用促進とみえる林業・木材産業の構築を進めます

① 森林資源の循環利用及び担い手の育成・確保

- ・森林経営計画作成を担う人材の育成、専門家派遣による林業経営体の能力向上等の支援 林業の担い手確保対策(新規就業者の確保・定着対策及び林福連携の就業支援、林業用アシストスーツ等新技術の導入)
- ・搬出間伐の促進による間伐材の利用促進、計画的な路網整備

② 地域材の利用促進

- ・加工能力の高い木材加工施設の整備支援、建築事業者等を対象とした県産木材利活用セミナー・現場見学会の開催、盛岡地域アマツ等利用促進連絡会議の開催

○木材生産算出額 R3: 286千万円→R5: 297千万円

○再造林面積 R3: 335ha→R5: 344ha

10 地域産業の特性に応じた産業人材の確保・育成とやりがいを持って働くことができる労働環境の整備を進めます

① 若年者等の就業支援と地域産業を支える人材の確保

県内就業意識の醸成(保護者や教員対象の企業見学や企業との交流会の実施、高校生や大学生と企業の経営者や若手社員等との交流会の実施、大学生とUIターン就職者等との交流会の実施、県外大学生等の帰省のタイミングを活用した県内企業のPR、高大連携授業や企業見学等への高校生の参加支援)

② 企業における雇用・労働環境整備の促進

企業の採用力強化セミナー(企業間交流による取組事例の共有)への参加促進

○県央圏域高卒者の県内就職率 R3: 69.3%→R5: 75.0%

11 産業経済活動を支える交通ネットワークを整えます

① 医療機関への救急輸送ルートの整備

大ケ生徳田線(徳田橋:盛岡市・矢巾町)、国道282号(佐比内:八幡平市)

○救急搬送等道路完了工区 R3: 2工区→R5: 3工区

2 組織運営課題

(1) 働き方改革の実現

項目	実施内容等	・業務見直し、業務効率化に係る指標及び目標値		
・業務効率化	① 年間業務スケジュールを適切に作成し、相互支援による個人負担の軽減を行うほか、IT 等を活用して効率的な業務の推進及び見直しに積極的に取り組みます。 ② 会議制限時間の設定、職場内の情報交換や業務のマニュアル化などにより、複数の職員が同じ業務を行えるような体制を整えます。 ② Web 会議、ペーパーレス及び電子決裁システムなどの活用により業務の効率化を進めます。	・事業の進め方に関する視点		
		指標名	基準値	R 5 目標値
		効率化を目的とした業務の見直し数	－	33(3×11 公所)
・ワーク・ライフ・バランス	① 各種休暇制度を利用することにより、子育てや趣味等の時間を確保します。 ② 年次休暇取得計画表を全職員が作成し、5 日間の休暇の取得を目指します。	・県民サービス向上に関する視点		
		指標名	基準値	R 5 目標値
		来庁者の利便性向上かつ職員の負担軽減を目的とした改善取組数	－	33(3×11 公所)
		・働き方改革の推進に関する視点		
		指標名	基準値（基準年度）	R 5 目標値
		複写用紙の購入枚数	5,064,500 枚 (R2)	3,545,150 枚 ※R2 より 30%削減
		1 人当たり超過勤務時間数	12.9 時間／人(R4)	12.2 時間／人 ※R4 より 5 %削減

(2) 内部統制

内部統制の目的を達成するための年間取組目標	
年間取組目標	目標を達成するための具体的方策
会計事務及び財産事務の適正化	会計事務及び財産事務を適正に処理するため、前年度の監査において指摘を受けた事項について、二度と繰り返すことのないよう、リスク対応策を確実に実施し、上期、下期毎に実施状況を確認する。

(3) その他業務推進に当たっての組織運営上の基本姿勢・行動指針等

項目	実施内容等
「健康経営」の推進	<p>盛岡広域振興局職員衛生委員会を活用しながら「健康経営」の考え方による職員の健康管理・健康づくりを進めます。</p> <p>① 全公所において、「健康づくりチャレンジウィーク（歩数計測・体重計測・食生活チェックを行う）」や「ラジオ体操チャレンジウィーク」に取り組みます。</p> <p>② 健康サポート研修を実施します。</p>
省エネルギー対策の推進	<p>地球温暖化対策に貢献するため、温室効果ガスの削減に向け、盛岡合庁の省エネルギー対策を推進します。</p> <p>① 外部のエネルギー管理士による省エネルギー診断を実施し、施設管理・運用の省エネ化を図ります。</p> <p>② 各部局等において、エネルギー需要が特に高まる夏季及び冬季における省エネ・節電に重点的に取り組みます。</p>